

北海道スタイル安心宣言

私たち札幌地区バドミントン協会中学運営委員会は、
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、
以下の習慣化、徹底に取り組みます。

また、この情勢に鑑み、中学生の大会を、
・部活動や本人が情熱を注いで頑張っていること「学び」の発表、発揮の場所
・この状況下での中学生たちのストレスを軽減するための場所
ととらえ、「不要不急」ではない活動として捉えます

- 1. 大会開催に際しては、参加中学生から保護者参加承諾と、学校参加承諾をとります。**
 - ・保護者参加承諾書は学校で保管、学校参加承諾書は申込時に職印捺印のうえ提出します。
 - ・承諾のない中学生の参加はご遠慮いただきます。
 - ・大会当日は、承諾のある選手、係生徒以外の会場への入場はご遠慮いただきます。
- 2. 引率者の固定化、会場に入る人数の制限を徹底し、会場にいる人数の削減と把握を徹底します。**
 - ・しばらくの間、引率者は中学校教諭、教頭、校長、及び中体連に登録した外部コーチのみとし、人数も原則1名、条件付きで最大2名までとします。
(一部団体戦などでは3名を許可することがあります)
- 3. 大会関係者の健康管理を徹底します。**
 - ・会場入場に際しては、参加中学生、参加引率者、参加役員から当日の検温確認、健康確認を行い、健康確認書を提出していただきます。
 - ・37.5℃以上の発熱者、風邪症状などの体調不良者は参加をご遠慮いただきます。
- 4. 会場の換気を徹底します。常時、体育館入口、窓、非常口等を開けておき、定期的な大規模な換気を実施します。**
 - ・団体戦大会は、1時間30分ごとの選手入れ替え時間に、窓、非常口等を開放し換気します。
- 5. 試合以外でのマスクの着用を徹底します。**
 - ・選手(中学生)は試合以外、引率者、大会運営者は常時、マスクの着用を徹底します。
 - ・咳エチケットの実行を強く呼びかけ、徹底します。
- 6. 選手(中学生)は試合以外、引率者、大会運営者の手洗い、手指消毒の励行を徹底、呼びかけを行います。**
 - ・会場に入場したとき、試合の前後、審判、得点係、線審を行ったあと、手洗い、手指消毒を必ず行うことを徹底し、呼びかけます。アルコール消毒液の設置、手洗い場への石鹸、ペーパータオルの設置を会場ごとに徹底します。
- 7. 設備、用具などの定期的な消毒を行います。**
 - ・線審の椅子、得点板、審判用具のカゴ、クリップファイル、ストップウォッチ、筆記用具等も定期的に消毒の徹底を行うと同時に、使ったあとの、手洗い、手指消毒を必ず行うことを徹底し、呼びかけます。
- 8. 人と人との接触機会を減らすことに細心の注意を払います。**
 - ・三密防止のための呼びかけを、定期的に行います。三密の状況、それに近い状況が起こっている場合、直ちに注意喚起、指導を行います。
 - ・一定の距離(2m程度)を確保する、ソーシャルディスタンスの確保を強く呼びかけ、実行する。
- 9. 試合での感染リスク回避に細心の注意を払います。**
 - ・試合前後の握手は行わない。
 - ・意識的に大声を出すようなことは厳に慎む。
 - ・ラリー前後のパートナー同士のタッチや、顔を見合わせての声出しなども厳に慎む。
- 10. 会場への来場の際への移動で、安全面及び感染予防の注意喚起、指導を徹底します。**
 - ・交通機関内では、マスクを着用し、必要以上の会話をせず、一定の距離(2m程度)を確保したうえで利用する。
 - ・車両等の換気がなされていることを確認し、必要であれば窓を少し開けるなどの換気を実践する。
 - ・自家用車利用でも、自家用車内の換気、マスク着用を徹底する。